

継続から見えてきたこと J様の事例より



社会福祉法人 特別養護老人ホーム 戸別慈恵園
学習療法委員 山内 隼人

○平成18年12月 学習療法導入。
「お客様一人一人と関わる時間がない」

職員の声から！！

○平成23年 脳の健康教室開講。
「えがお塾・ひぐらし教室」

○法人全体の学習利用人数

- ・ 本体 34名 ・ かざぐるま13名 計47名
- ・ 在宅（DS・SS・もみじ） 計35名

○脳の健康体操教室

- ・ 市内5カ所 計68名

○30年度 学習療法委員会 目標

「正しく、楽しく、頭の体操を行うことで
自信をもって、笑顔で、元気に暮らして頂く」

○委員会メンバーは事業所と自分自身の目標

○委員会の取り組み

- ・ 7月28日 第5回学習療法施設間交流会 計52名
- ・ 12月15日 学習療法新任実践士研修 計12名
- ・ 12月15日 第6回学習療法家族交流会 計59名
- ・ 2月12日 サポーター研修 計14名
- ・ 一斉学習療法支援 計4回実施

7月28日 第5回学習療法施設間交流会

テーマ：他施設と交流を深め、正しい支援を行う
お客様と目を合わせて話す

参加人数：9施設10名 学習療法センター2名 園職員40名 計52名



12月15日 学習療法新任実践士研修

参加人数：学習療法センター2名 園職員10名（4名が対象）計12名



12月15日 第6回学習療法家族交流会

テーマ：お客様を知り、自立支援につなげる。

参加人数：ご家族様10名 1施設6名 学習療法センター2名

園職員41名 計59名



2月12日 サポーター研修

参加人数：学習療法センター1名 学習サポーター6名

サロンサポーター1名 園職員6名 計14名

目的：現在の学習療法支援をされていて不安に思う事を解決し、正しい学習療法を学ぶ



○一斉学習療法支援について

・年間4回にて実施



○毎月の月次検討

・お客様の学習状況の確認

・今後の学習検討



○J様の事例について

- ・学習を実践する。
- 実践から見えてきたこと。
- 学習の大切さ



○ J 様について

- ・ 92歳 男性 介護度 4
- ・ 樺太生まれ 7人兄妹の次男
- ・ 結婚され3人の子供に恵まれる
- ・ 小さい頃から手先が器用。
- ・ 退職後から徐々に生活に支障が出てくる
- ・ 在宅サービス⇒SS⇒相互利用開始
- ・ 在宅では難しくなり、H28年10月入居となる。

○家族様からのお話し

- 家でも、動くことは少なく、眠気はあった。
- 食べる事が好きで、ほとんど残すことはなかった。
- 家に居ても釣りの仕掛けをしていた印象が強い。

○入居直後の J 様の暮らし

○生活

- ・ ソファで休まれていることがほとんど
- ・ 時々、行事に参加される。
- ・ 食事は右手で箸を使用し、全量召し上がられる。



○学習

- ・ 学習は時々眠気があるも声掛けを行うことでスムーズに行える。
- ・ しっかりと鉛筆を持ち、名前・日付が書ける。

- 眠気が少しずつ強くなっていく。
- リビングで過ごす事が無くなり、休息される事が多くなっていく。
- 身体を動かす事が無くなっていった。

○今現在の J 様の暮らし

○生活

- ・ 生活のほとんどが居室にて休息。
- ベットでお休みになられている。
- ・ 食事はお箸を持つ事が出来なくなって来た。
- 食事が進まず、介助が必要となる。



○学習

- ・ 学習も眠気が強く難しくなる。
- ほとんどが読み・計算の一枚目でお休みになられてしまう。

○自分の気持ちとして

- ・ 学習も出来なし、やっつけていみがあるのか？
- ・ 続けずにお部屋で休息されていた方が良いのではないのか？
- ・ 教材が上がる事は無く、下がっていく一方なのだろう。

●月次検討にも報告し、学習終了まで考えた...

○月次検討より

- ・ とりあえずできるところまでを継続していく。
- ・ 時間や支援方法等も検討。
- ・ 支援者からの情報を頂く。

● 正直、むずかしいだろう...

○継続してみても

- ・ 調子の良い時には、数字盤まで行える。
- ・ ご自分で名前・日付を書くことが出来る。



○気付いた事

- ・ 手を動かす事が出来る。
- ↓
- ・ 箸を使う事ができる？
- ↓
- ・ ご自分で食べる事ができる？



○ J様の好きな事（食べる事）
が暮らしの中で続けられる。

○ できないと思ってしまっていた事が
ご本人様には大きなこと。

○ 好きな事・出来る事を
見失ってしまうところでした。



○ J様の事例から

- ・ 向上することに気が囚われていたが、
今を継続・維持することの大切さ。
- ・ ひとりひとりのお客様にとって出来る事の大切さ。
- ・ 認知症予防だけでなく、**生活にも学習はリンクして**
いる。

○今後に向けて

- どんなことでも出来るところまで継続すること。
→ 何かが見えて来るかもしれない
- 見えて来た事を維持・周知すること。
→ 今出来る事を無くさない・笑顔にも繋がっている。

御清聴ありがとうございました。



大好きなとら焼き！



大好きな竿を持つ！